

梅雨空パーベキューパーティー

6月12日梅雨空の続く中、1階のエントランスにてパーベキューパーティーを行いました。

雨模様が続く、当日の天候が気になりましたが、利用者さんと作ったテルテル坊主のご利益もあり、雨に見舞われる事なくにぎやかにパーティーができました。焼きそばや焼肉、焼きおにぎり、焼き野菜と豊富なメニューに利用者さんも大変喜ばれ、「外で食べるのは気分が変わって美味しいわ」「たくさん食べたよ、ありがとう」と、「また外で食べたいわ」等、大変喜ばれ、スタッフも席を同じくして、楽しく頂く事ができました。



8月は夏祭りを予定しておりスタッフ一同、趣向を凝らすようにプログラムを考えております。しばらくは猛暑が続きますが、近隣の買い物レクリエーションや1階フロア内でのボウリングやクレーション等、利用者さんの気分転換となる日々をご提供できるように頑張っております。



食材の買い出しや、当日の席のセッティング、利用者さんと一緒になって調理したりと、スタッフ一同楽しく行事を行う事ができました。利用者さんの笑顔と、いつもと違った食事風景をご提供でき、有意義な一日となりました。6月の行事に続き7月はフラダンスレクを行います。

ボランティアさんとフラダンス

7月19日、3年ぶりに外部ボランティアさんによるフラダンスショーが開催されました。

フラダンスを習っているスタッフ数名が、事前に先生や生徒さん11名と連絡を取り、日付、時間を決定。トレのスタッフと担当者が準備に取り掛かり始めます。



まずはフロアの飾り付け。ハワイアンな壁紙制作など、雰囲気作りもばっちりです。当日のステージのレイアウトは、グループホームのリーダーにも協力してもらい、車椅子の方でも近くで一緒に楽しんでもらえるように実際に椅子を並べてみたりしながら試行錯誤して考えました。

当日は晴天に恵まれ、猛暑の中ではありませんが、先生と生徒様11名が到着。13時開演です。先生が曲目と詩の紹介

をして下さり、全部で8曲を踊って頂きました。6曲目の『涙そうそう』では、利用者さん達が感動で涙を流される程で、熱いものが込み上げていく様子でした。最後の曲が終わり、全員から『アンコール』と拍手の音が。『涙そうそう』を全員で踊って頂きました。皆さん、踊りに合わせ一緒に歌を歌い、最後まで盛り上がりました。

1時間がアツという間に終わり、皆さん笑顔で『また来てね』と喜んでいました。そして最後は全員で記念撮影。感謝とお礼を伝え、お見送り後は、おやつにハワイ風パンケーキとフルーツポンチに舌鼓を打ち、ハワイアンを満喫できた楽しい1日でした。

介護保険負担割合証	
文書年月日 令和 年 月 日	
番号	
被保険者氏名	
生年月日	昭和 年 月 日 性別
利用者負担の割合	適用期間
1割	開始年月日 令和 年 月 日 終了年月日 令和 年 7月 31日
271007	
大阪市 介護保険課	
大阪市北区御船場センター 福祉課(介護保険) <3階34番> 住所 大阪市北区御船場2丁目1番27号 電話 06-6313-9859 FAX 06-6313-9905	

介護保険負担割合証について

未だの方が居られますので、再度ご連絡致します。左に図示しました、介護保険負担割合証が7月31日に更新を迎えます。住所をラヴィータドゥーエに(西九条2-15-6)されている入居者様はこちらの方で開封、確認、保管させて頂きます。他の住所にされている入居者様、及びトレ利用者様は7月中旬に新しいものが届いていると思います。ご一報お願い致します。ドゥーエ入居者様はお預かりし、トレ利用者様はコピーを作成させていただきます。どうぞよろしくお願致します。

名誉横綱

猛暑日が続く今日この頃ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

唐突に「名誉横綱」と記しましたが、ご存じの方も多々あります。当施設で毎年9月に行われています「長寿を祝う会」で長寿大関・長寿横綱の認定を行っております。大関は90歳以上、横綱は95歳以上で認定しております。さらに百歳に到達すれば名誉横綱となります。

当施設もこの8月で、10年目に突入し、現在はドゥーエ・トレを含め、横綱が5名、大関が13名いらっしゃいます。この18名の中から名誉横綱が誕生して欲しいものです。

今年の「長寿を祝う会」は9月23日に予定しております。大関・横綱の認定式や日々の生活のスライドショー等を企画しております。多くの家族様に参加して頂ければと考えておりますので、よろしくお願致します。

施設長 大西 秀



～ 第 3 6 号 ～
令和5年8月発行
認知症対応型共同生活介護
ラヴィータ・ドゥーエ
小規模多機能型居宅介護
ラヴィータ・トレ
〒554-0012 大阪市此花区西九条2-15-6
TEL06-6147-8070 FAX06-6147-8071
http://www.lavita-uno.jp

ふうみ通信



春の遠足

こんにちは、今年で介護職2年目になりまして、チヨウケンウと申します。

いよいよ春になりまして。コロナの影響で今までは外出などは厳しかったですが、緩和につき外出が可能になりました。早速外で歩きたいですね。



6月14日に春の遠足で外で花をみながら美味しいおやつをたべて予定でしたが、雨が降ってきたのでショップピングとカフェに変わりました。お花が見れなかったのは残念でしたが、久しぶりのショップピングに入居者の皆さんは喜んでいました。

男性のMさんは昔から登山の趣味があったので、リュックを見て嬉しそうに昔使っていた登山用具の事を話



女性Mさんは新しい靴が欲しかったのでスタッフと靴のコーナーを回って、好きな靴を買いました。

おやつはスターバックスの美味しいと評判のフラペチーノと千鳥屋のお菓子でした。H氏はコーヒー飲み「美味しい」と言い、帰りに寄ったペットショップでは「かわいい」と皆さんから声が上がっていました。

バスとすれ違う時に、昔バスを運転していたS氏はバスを見て微笑んでいました。言葉はありませんが、嬉しうなの伝わってきまして。秋の遠足は晴れたいですね。

2F 張 剣宇



早いものです

ようやくコロナの制限も緩み、日常生活も穏やかさを感じられます。施設の面会も居室での対面となり、入居者様、家族様の笑顔を見ることができ、ひと安心です。行事も少しずつ始まり、入居者様の「どこかに行きたい」「美味しい物が食べたいね」等、声も出て来ています。

5月の「母の日」には、スタッフが事前にカーネーションを折り紙で一本ずつ作り、マドレーヌとコーヒーで楽しい時間を過ごしました。

6月の「父の日」は焼肉パーティー、皆さんしっかりと食べ、賑やかでした。

最近では買い物も一緒に行くようになります。買い物中も話しが弾ん弾んです。毎月、スタッフが順番に壁飾りの



集合写真は、表情も元気がいっぱいです。入居生活の長い方、ようやく慣れた方などさまざまですが、入居者様同士で分からない事などをお互いに助け合いながら生活している場面を見るところも嬉しくなります。

これから寄り添って支援出来るよう頑張りたいと思います。

3F 北農 美鈴



テーマを決めて制作していますが、「今度は何を作っているの?」と誰彼なしに集まり、「これもう少し色変えてみたら?」「それいいなあ」「等アドバイスもあり、一緒に制作し、完成時に全員集合の記念撮影をしました。

七夕の飾り付け

恒例の笹の飾り付けを行いました。

「あなたの願い事はなあに? 私は決まってるねん!」「おしえてよ!」など笑顔と楽しい会話が飛び交う中、自分の思いや願いを短冊に書いていきます。

そして、この日のために皆で作っておいた折り紙の輪飾りや吹き流しと一緒に思い思いに結び付けていきます。結び付けている時間も「それキラキラして賑やかでいいな!」「ホンマや! 私もそんな風にしよう!」など、自然と会話が弾み、楽しい時間を共有しながら、皆それぞれの思いが溢れたオリジナルの笹飾りが完成すると、

フロアは明るく華やかな夏の訪れを感じさせる雰囲気になりました。

飾り付けを見て回る皆さんからは笑顔が溢れていました。

その様子に私達職員も心が温かくなりました。

来年もまた皆さんが笑顔で飾りつけに参加し、心温まるひとときを過ごす事ができますように

4F 藤澤 祐子



4階に異動しました

私は6年前に、ここラヴィータドワーエに非常勤として2階で働き始めました。子育てもひと段落したこともあり、常勤になり2階で6年間、勤務させて頂きました。

入居者様始め、家族様、職員の皆さんと楽しく過ごす事ができました。その中で、貴重な体験や経験も沢山させて頂きました。ありがとうございます。



この5月に新型コロナウイルス感染症も第5類に引き下げられた事で、ここ数年間、実施できなかった外出や行事の家族様参加も出来る様になりました。これから入居者様を始め、家族様や4階スタッフの皆さんとたくさん色々な行事を行い、その中で多くの交流を持ち、入居者様や家族様に『安心して生活が送れる』と張りります。

4F 猪田 宣子



そして、今年の2月に初めての異動で4階に勤務させて頂く事になりました。初めに帰りに挨拶させていただきます。これから宜しくお願い致します。

4階フロアでは以前お手伝い勤務させて頂いた事があり、知

やつと外出に!

やつと居室での面会や外出が出来る事になり窮屈だった生活が変わろうとしています。

外出の許可が出ると何処に行こうか皆さんに尋ねるも「うん、分らんや」との返答。何処にも行けなかった時間が長すぎた。いよいよ場所が思いつかない様子だったので、何ヶ所か候補を上げるとやつぱり3階の入居者様は「美味しいものが食べたい」と食い気全開で推してきたのでコロナ禍以前に行っていたくら寿司に決定! 6月10日にレッツゴー!



見本を見せると「分かった。こうして取った方がいいやな」と次々に好きなお寿司を取って頬張っています。「お腹いっぱいや」と言いながら鰻や中トロを提案すると「美味しそうやな」「まだ、食べれるぞ」と注文したお寿司もぺろりと食べてお写真も撮ろうとしても回って来るお寿司ばかり見ていたので何線をお願いしなければならぬほどでした。

久しぶりの外食を楽しみ笑顔を見ると職員も笑顔になりとても楽しい時間を過ごす事ができました。コロナ禍で出来なかつたことが出来るようになったこと、自由に外出出来る事でこんなに活気あふれる笑顔になるなら、これからもっとお出かけしましょう!

3F 蓑田 麻須巳

7月7日七夕の日。イベントらしいことがしたいと考え、昼食に流し素麺、おやつにはスイカ割りをしてみました。

流し素麺の竹は取りには行けなもので、竹の代わりにするものとして、牛乳パックを細工して作り、流す場所は色々な意見が出ましたが、洗面台より流す事になりました。初めての試みで、上手く出来るのかとドキドキしましたが、入居者さんも笑顔で「あー取れんかった」と流れ行く素麺を見送ったり「ほくら、取れたで」と掴めた素麺を見せてくれたり、変わり種には水餃



子を通し、思った以上に早く流れみんなで大爆笑でした。お箸では難しい人にはフォークを持ってもらい上手に取れると「食べていいの?」と言わんばかりの笑顔で周りを見渡していました。流れて来る素麺が取れなかった人は、下のザルに溜まっている素麺を食べている人もいました。

入居者さんが楽しむのを前提に考えたイベントですが、負けじとスタッフも楽しむ事が出来ました。入居者さんが取れないのを笑って見ていた、スタッフも、いざやってみるとなかなか取れず、入居者さん・スタッフで大笑いでした。

今後もいっぱい笑って楽しめるイベントを考えていきたいと思います。

2F 角田 佳代



今回は入居者様6人と職員5人で車に乗って入り込み、いざ、くら寿司へ。くら寿司に着くと、テーブルに着くとめ取るうとしないので



初心忘るべからず

